

# サンジツルバー市川だより

3月は「暑く寒くも彼岸まで」「三寒四温」という言葉があるように、冬と春の境目の季節です。日に日に寒さも和らぎ、暖かな日差しに春の訪れを感じる季節ですが、寒暖差で体調を崩さないように注意も必要です。

新型コロナウイルスの感染者数は全国的に減少傾向が続いています。政府は3月13日から、コロナの感染対策を緩和し、原則としてマスク着用を個人の判断に委ねるとしていますが、医療機関や高齢者施設等の従事者はマスクの着用を推奨するとしています。インフルエンザの流行もありますので、私たち老健職員は、**コロナ減少でも油断せずに基本的な感染対策を**続けていきたいと思います。



## 皆さん、報連相できていますか

ほうれんそう



介護の仕事は、多職種連携と職員のチームワークの上で成り立っています。自分一人の判断でご利用者様の対応を変更したり、物事を進めたいけません。それが事故やご利用者様からのクレームに繋がることもありま

## なぜ？と原因を考えてみましょう

食事が減ってきたり、食べようとしない時、そこには色々な原因があります。そんな時「なぜ？」と考えてみるのが大切です。「どこか体調が悪いのだろうか」「嚥下障害があるのだろうか」「義歯は合っているのだろうか」「年齢的に食べられなくなってきたのだろうか」「何か悩み事や心配事があるのだろうか」など色々な原因が考えられます。ただ単に食事を減らしたり、形態を変えれば良いというわけではありません。

車いすから立ち上がる事ができない時も、「どこか痛いのだろうか」「足に力が入らないのだろうか」「立つということがわからないのだろうか」など、原因があるはずですが、立てないというだけで「はい、手すりに掴まっ

## 4月以降のコロナワクチン接種

高齢者、介護・医療従事者 年2回

ワクチン接種の目的は、重症化リスクを減らすことです。65歳以上の高齢者や持病のある人、高齢者に接することの多い医療従事者・介護従事者は5月～8月に先行接種、全世代対象に9月～12月に接種機会があります。無料接種は、全世代令和6年3月まで。

## 明日のモチベーションのために

ヤポンスキー しばやし画伯の詩です。

- \*この世界、学びたいことがある限り、どっからでも 誰からでも 学び放題だ
- \*待っている人がいる
- \*頑張る理由はそれだけで十分じゃないか
- \*必要とされているから あなたはここに
- 自分の役割に誇りを持とう

## 介護職 マスク撤廃反対 約45%

新型コロナウイルス感染症法の分類が、今年の5月に5類相当へ引き下げられます。介護現場でのマスク撤廃の賛否について、シヨブメドレーが介護職997人に聞いたアンケート結果があります。マスク撤廃に反対が45%、どちらとも言えない39.5%、賛成が14.5%でした。

## 反対の意見

医療も介護も、まだまだ油断大敵な状況。自分自身や家族の感染はもちろん、ご利用者様が感染することへの不安が大きい。

## 賛成の意見

せめて入浴介助中だけでも外したい。マスク着用で感染予防効果があるのかどうかが疑問、結局換気が一番なのではないか。

## どちらとも言えないの意見

時期や環境に応じて着用するかどうかを判断したい。

クラスターが発生しやすい高齢者施設は、今はまだマスクを含め、基本的な感染対策を続けていく必要があるのではないのでしょうか。

編集後記

お花見のマスクの着用は、個人の判断に委ねられます。老健の職員であることを心の片隅に。介護部長

